

令和5年度 第1回 甘木駅周辺整備基本構想策定会議
議事要旨

日 時：令和5年6月1日（木）

15：00～16：30

場 所：ピーポート甘木 第4、5学習室

出席者：別紙名簿のとおり

1. 開会

2. 委員紹介

3. 会則について

4. 会長副会長選考

5. 会長、副会長あいさつ

6. 資料説明

7. 意見交換

委員

- ・ 駅利用者は高校生等、通勤通学者の割合、待ち時間をどのように過ごしているか？
 - ・ マルシェすごくいい取り組み。自分も糸島市でまちづくり参加しているが、志摩町には、屋根付きの広場が公園の横にある。テントの設営などが楽になる。参考事例として。
 - ・ 親子連れにとっては、トイレやちょっとしたものを買える小さなお店があるといい。
- （事務局）乗降客数は、西鉄1068人、甘鉄1000人ちょっと。通勤通学（定期利用者）が大多数ではないかと思う。

委員

- ・ 資料1について。新庁舎周辺の用途地域を見直していく方針なのか？
- （事務局）新庁舎南側の農地には今後事業所が来ることも想定される。今後必要に応じて用途の設定があると考えている。

委員

- ・ 資料1の緑の範囲に住む人は、車メインでの暮らしになるのか、公共交通メインでの暮

らしになるのか、想定はどうか？西鉄の今後のあり方とも絡むと思うので。

→（事務局）新庁舎と駅が二つの拠点。それら拠点の間に住居を誘導して、公共交通を活かして、コンパクトシティを実現していきたい。

委員

・私は昔から甘木町に住んでいる。その中で変わらなかったのは、西鉄と甘鉄。なので、今後の変化が気になる。終着駅でもあるので、うまく活かしていけたら。

→（委員長）せっかく鉄道があるのでできるだけ公共交通にシフトしていけたらいいと思う。

委員

・「都市機能」とは何を指しているのか？

→（事務局）生活するために必要な施設（病院、銀行、スーパー、コンビニ等）を指している。

委員

・新庁舎から322までまっすぐ行ける道路ができるといい。難しいと思うので、コメントとして受け止めてもらえたら。

→今回は駅周辺整備について議論していただけたら。

委員

・駅前の駐車場広い。全てが利用されているわけでもなさそうなので、ウォークابلに向けて、少し面積しばっていいかな。

・その分通勤通学の人が駅で勉強できるとか、知り合いと出会えるスペースができれば。

・駅はまちの顔であるので、朝倉らしさ、歴史を知ることができるといい。シェアサイクルとセットでわかりやすくルート設定される等、朝倉を楽しんでいただくためにも工夫ができそうと感じた。

委員

・福岡市で働いていたが、朝倉に帰ってきた。免許を持ってない。

・都会は車を持つ人が少ない。若い人はますますそういう流れ。外から人にきてもらおうと考えた時、朝倉はこのまま車社会ではまずいのでは。

・コンパクトシティは、現代の生活に寄り添った政策だと思う。

・今のままでは、駅で待つ場所もない、カフェもない、待ち合わせ場所もない。

・電車を一本逃しても、まあいいか、ここで過ごせば、と思えるような駅になれば。

→（委員長）最近の学生は車に興味ない。国もウォークابل政策を推進している。ただ、

いろんな意見、立場があるので、今後合意形成が重要な課題になる。みんなイオンの中では歩いている。歩いて楽しくないとダメ。そんな起点の駅になるように。

→（事務局）先ほどの高取先生や黒瀬先生からのコメントとも絡むが、今年度交通量調査して、客観的に駅や駐車場の利用実態を把握し、策定会議にお示ししていきたいと考えている。

委員

・国道まっすぐなると渋滞緩和になるか、便利になって混むか、新庁舎移転の影響も含めてどうなるか？

→（事務局）右左折がなくなるので駅前の交通はかなり改善されと考えている。今後322号の交差点の交通量調査を予定している。右左折の交通がどの程度減るかは示して行きたい。

委員

・羽犬塚、宗像等の駅では、送迎しやすさが大事だという意見が多かった。少し待てる場所があったらという意見。送迎のニーズも調べてもらえたらよいと思う。

・宗像のオンデマンドバス「のるーと」が便利である。乗合タクシーがスマホで呼べる。車を所有していなくても生活できるための選択肢のひとつとして参考になれば。

委員長

・次回は8月となります。それまでにまたご意見を考えておいていただけたら。

8. 閉会

以上。